

米国免疫学会での学会発表

2012.5.14

NPO フコイダン研究所

The American Association of immunologists (AAI : 通称、米国免疫学会) の 2012 年度総会が、5 月 4 日～8 日の日程で、アメリカ・マサチューセッツ・ボストンの Hynes Convention Center にて開催されました。本学会は、アメリカを中心に世界各国で活躍する免疫学者が一同に集う世界最大規模の学術組織であり、「免疫学およびその関連分野」に関する理解を深め、免疫学の最新の知識に関して科学的な裏付けとなる情報を発信する事を目的として、毎年 5 月に年次総会を開催しています。本総会は、今回で 99 回を数え、世界各国の大学や企業および国立機関に所属する研究者から 1,700 超の演題が提供され、各分野の交流および情報交換がなされました。

NPO フコイダン研究所の理事長である宮崎義之氏は、「Enhancement of NK cell activity and Th1 immunity in healthy subjects by orally administered fucoidan mix.」という演題でポスター発表を行い、フコイダンの機能の有効性について当学会の注目を集めました。

また、発表にあたり、当研究所理事の立川大介医学博士にも参加いただき、医学的にも大いに注目を集める事となりました。

次回の年次総会は、2013 年 5 月 3 日～7 日、Honolulu Hawaii で開催される予定です。

本学会に関する情報は、AAI 公式ホームページ (<http://www.aai.org/>) よりご参照ください。